

あかるいまち 21

No.1530 2022年8月20日
組合員活動推進課 082-532-1264

	8月	2022年度
組合員ふやし	54人	485人
出資金ふやし	458万円	5629万円
純増	△296万円	357万円

世界に平和を！ウクライナカラーのおりづる

～吉島支部 脳いきいき班～



8月3日（水）吉島福祉センターにて吉島支部の脳いきいき班会が開かれました。朝からうだるような暑さの中、7名の方が参加されました。朝9時半、皆さんが集まるのを待ちながら「機関紙けんこう」の仕分け作業。

「暑いね～」と元気に集まってこられます。「体調はどう？」
「水分ととる？」とお互いを気遣いながら班会が始まります。毎回、椅子に座って筋肉ストレッチ、計算問題と答え合わせなど頭の体操でリフレッシュし、指先を使う折り紙や小物づくりに挑戦しています。

今回は通常の「おりづる」にひと手間加えたウクライナカラーのおりづる制作に挑戦しました。青い折り紙と黄色の三角に切った折り紙を張り合わせ、仕上げで2か所ほどハサミを入れる。手先の不器用な私は最後まで作り切れませんでした。90歳代の運営員さんが粘り強く教えてくださいました。完成した「おりづる」を並べ会場は「これ可愛いねえ」「きれいじゃね」と盛り上がりました。最後はみんなで記念撮影し作品を持ちかえりました。「来月はどんな脳いきいき班会が開かれるのか楽しみじゃね」と解散しました。



8月6日（土）朝のセレモニーに参加して



入職して2回目のセレモニーの参加でした。今年は去年と違い、ロシアによるウクライナ侵攻についても考えさせられる時間となりました。

ウクライナ侵攻のニュースで当たり前だった日常、多くの命が一瞬にして奪われる様子に胸が痛くなり、これまで数々の戦争を経験し人類は何を学んだのだろうかと感じます。

核保有国は核兵器を「平和保持のため」と言っていますが、核兵器は我々の命を脅かす存在でしかありません。

アメリカの核の傘に頼る日本は核兵器禁止条約に批准していませんが、唯一の被爆国である日本だからこそ伝えられることがあります。核兵器廃絶への一步を踏み出すために、今こそ核兵器禁止条約への参加をする時だと思えます。

中央保健生協では、平和運動を長きにわたり行ってきました。今後私たちは、他団体、多世代と手を取り合い平和運動を大きく広めていかなければならないと思えました。